



この通信は、高島町在宅医療・介護連携推進協議会（以下「協議会」）における在宅医療と介護の連携状況を随時お伝えするものです。

協議会「幹事会」を開催！

7月26日（木）午後7時から、げんき館において本協議会の「幹事会」を開催しました。

議題は、本年度協議会の進捗状況の報告及び今後の研修会・啓発講座の開催を協議しました。



（門脇先生の座長で進行）

協議事項では、事務局より「全体会」の開催結果の報告があり、続いて各専門部会の活動状況が報告されました。

- ①看護介護部会 … 寒河江部会長
- ②調剤薬局部会 … 島崎部会長
- ③歯科医師部会 … 桜井部会長
- ④医師部会 … 門脇部会長

それぞれの専門部会長より、今年度の方針と重点事業の取り組みについて、報告がありました。

看護介護部会は、引き続き定期開催する。

調剤薬局部会は、在宅医療における薬剤師の役割として認知症サポーター養成講座を薬局全員が受講して、認知症の地域支援体制に協力していく。

歯科医師部会は、昨年度から実施している訪問歯科診療の検証を実施する。

医師部会は、各部会終了後に開催する。

次に、今年度の研修会・啓発事業について協議し、多職種研修会については、昨年同様に「見え

る事例検討会」を9月13日（木）午後7時から開催し、事例提供事業所は事務局で調整する。

専門的な研修会の開催は、パーキンソン病の基礎知識について、介護職からの要望で医療系研修会を開催する。

町民対象の啓発講演会については、昨年度好評であった山大学部腫瘍内科医師による「人生の終い方パートⅡ」として2地区で開催する。

以上の協議事項を決定し、引き続き「認知症初期集中支援チーム検討委員会」に移行して会議が進められました。

「調剤薬局部会」からの報告！

調剤薬局部会は、6月27日（水）午後7時から開催し、今年度の取り組みなどを協議しました。

特に、在宅医療における薬剤師の役割を協議して、薬剤師ができる具体的な指導や援助等を議論しました。その中で、やれるところから具体的に進んでいくこととし、次の事業を行うことを決定しました。



（島崎部会長座長で進行）

- ①認知症養成サポーター講座を受講し、地域支援の取り組みを実施する。
- ②ケアマネージャーとの意見交換会を開催し、服薬管理などを介護職と懇談する。

○8月23日(木)午後7時から認知症サポーター養成講座を開催しました。薬局関係者19名が参加し、終了後グループワークによる情報交換を行い、活発な話し合いがなされ、町内薬局の情報交換が図られ参加者からは、大変有意義だったとの声が多数ありました。



(グループワーク)

○10月17日(水)午後7時から、薬局薬剤師とケアマネージャーの意見交換会を開催しました。

事前に双方の専門職から、質問や意見などを集約して意見交換を行いました。内容は、看護・介護を支援する際に生じている他職の専門職に対する質問や意見等の交換が活発に行われました。

多職種合同研修会「見える事例検討会」開催

多職種合同研修会 在宅・介護連携「見える事例検討会」は、9月13日(木)午後7時からげんき館において開催されました。

認定ファシリテーター野崎俊介君、岡井巖治君の2名の進行により、事例提供者の高島ふれあいケアセンター高橋まゆみさんからの説明によって進められました。参加者は、40名で関係者として社会福祉協議会、民生委員の方も参加しました。この「見える事例検討会」とは、目的である①課題解決②援助技術の向上③ネットワーク構築の観点から、多職種、多部門の参加者の皆さんの「知を結集」して解決していく事例検討の手法です。

今回の事例は、社会福祉協議会や民生委員も関わっているもので、ケアマネージャーから経過と現状について報告があり、専門職の皆さんが専門分野の観点から質問やアドバイスをし、解決の糸口を見つけていこうとアクションプランを作っていました。

多職種からの意見は、事例提供者にとって新鮮であり、課題解決法の提言もありましたが、根本のキーパーソンを確保しながら、本人に納得してもらうことが大変難しい事例であり、今後とも、民生委員や包括支援センターも協力して対応していくことで、終了しました。



(見える事例検討会)

「歯科医師部会」からの報告!

歯科医師部会は、10月2日(火)午後7時30分から、げんき館において開催しました。

協議事項は、昨年から実施している訪問歯科診療の経過報告と今後の歯科医師部会の活動予定など協議しました。

訪問歯科診療の経過では、昨年から3件の依頼があったが、実施した診療は1件でありました。

在宅で介護している状況などを実際に対応しているケアマネージャーと意見交換会を開催して、口腔ケア等の実態を聞く機会をつくることにして、来年度に開催することにしました。



(桜井部会長座長で進行)

編集後記

第2号を発行しましたが、専門部会の活動が活発化しまして、会員の皆様の声をお伝えするスペースをとることができませんでした。

第3号では、是非企画したいと思います。